

大学運営会議議事録

開催日 令和6年9月12日(木) 午後2時00分から午後2時25分まで
及び場所 特別会議室 Web (ZOOM) 会議同時実施

出欠状況 出席:34名 欠席:6名

1 報告事項

(1) 令和6年度(2024年度)オープンキャンパス実施報告

① 静岡県立大学

② 静岡県立大学短期大学部

(2) 「県民の日」事業 開催報告

① 静岡県立大学

② 静岡県立大学短期大学部

(3) 株式会社静岡銀行との遺贈協定の締結

2 その他事項

(1) 令和6年度(第28回)文芸コンクール作品募集

・ 前回議事録(案)の確認

令和6年7月の大学運営会議議事録(案)について、案のとおり承認された。

1 報告事項

(1) 令和6年度(2024年度)オープンキャンパス実施報告

① 静岡県立大学(説明者:細川学生部長)

静岡県立大学は、8月6日から9日の4日間に亘り、高校生ファーストの対面型オープンキャンパスを実施した。

参加人数を制限し、昨年同様に薬学部が午前と午後の二部制で計1,000名、他学部が各500名で募集を行い、薬学部の午後の部のみ、500名の内250名を保護者参加型とした。他学部では、保護者は参加者定員の中に入っていないが、保護者控室を設け、各学部で保護者向けの進学説明会、個別相談会などの企画を実施した。

参加者は計2,806名あり、申込に対する参加率は、昨年とほぼ同率の88.3%であった。

なお、食品栄養科学部では、昨年のオープンキャンパスにおいて対面型と同時にライブ配信型も実施し、今年度も当初は同時実施を検討していたが、前年度のライブ配信型の参加者が少なかったこと、前年度にライブ配信型で実施した学部が食品栄養科学部のみであったということ、対面型のオープンキャンパスを今回は時間制ではなく完全自由参加型とすることが入試室から提示されたことで、ライブ配信型に従事する人手が不足することが明らかになったこと、以上の理由から、ライブ配信型の実施を見合わせ、対面型のみの実施とした。

定員は、昨年度の参加率を参考に歩読みを入れて事前の申込を受け付けた。

2023, 2024年度は、人数制限を設けての参加者数である。また、今年度は国際関係学部のみ前年度から微減となったが、その理由は、国際関係学部のオープンキャンパス前日の午後4時40分過ぎに「南海トラフ地震臨時情報」が発令され、若干名のキャンセルがあったためであ

ると推測する。今後はこのような緊急速報に対し、どのような対応をとるかという点について、事前に検討する必要がある。

② 静岡県立大学短期大学部（説明者：小林短期大学部副部長）

短期大学部は、対面式及び動画配信によるオープンキャンパスを実施した。

対面式は、7月21日（土）に午前と午後の二部制、昨年度から定員を計60名増やし、午前と午後で各200名、計400名の定員とした。今年度は、歯科衛生学科及び社会福祉学科 社会福祉専攻で、定員を上回る参加者数があった。

内容は、全体会で入学者選抜や学生生活について説明を行った後、学科ごとに施設案内、学科説明及び個別相談等を行った。また、学食ランチ体験も昨年同様に実施したが、想定よりも希望者が少なかったため、来年度はメニューの事前案内等について検討したい。

動画配信は、公開期間を令和6年8月2日から令和7年3月31日までとしており、8月31日時点の総視聴回数は1,019回である。そのうち、各学科紹介の視聴回数が最も多く、同時点での視聴回数は802回である。

模擬講義の動画配信は、公開期間を令和6年8月2日から11月30日までとしており、高校生が夏休み期間中に視聴できるよう、8月初旬から公開を開始している。また、総合型選抜や学校推薦型選抜による受験生の試験日に配慮し、公開を11月末までと設定している。

今年度の全参加者362名のうち、高校3年生は同伴者を含む117名、全体の32.3%である。社会福祉学科 社会福祉専攻では、申込数、参加者数ともに3年生の割合が40%超であり、受験生をターゲットにしたオープンキャンパスにおいては、良い結果であったと考える。

オープンキャンパス対面式の直近3年間の参加者数推移は、各学科専攻において若干の上下はあるものの、全ての学科専攻で維持又は増加傾向にある。

動画配信の視聴回数推移は、昨年度の歯科衛生学科の学科説明動画視聴数が突出して多く、要因は不明であるが、本年度は昨年度と比較し、全体的に視聴回数が伸びていない状況であるため、ホームページ上のリンク先を分かりやすくするなど、現在対策を講じている。

また、模擬講義の視聴回数推移についても、今年度は視聴回数が伸びていない状況であり、併せて対策を講じていく。

アンケート結果は、9割以上の参加者から良い評価をいただき、特に学科別説明会が高評価であった。また、本年度は歯科衛生学科及び社会福祉学科においてキャンセル待ちが発生するなど、多数の参加希望者を確認したため、次年度に向けては定員数を検討していきたい。その他、学生との交流会等も大変好評であったため、次年度以降も同様に実施したい。

(2) 「県民の日」事業 開催報告

① 静岡県立大学（説明者：藤村教育研究推進部長）

草薙キャンパスでは、薬学部・食品栄養科学部・国際関係学部・経営情報学部・附属図書館の協力を得て、県民の日に当たる8月21日の13時00分から15時40分の時間帯で、「夏休み県大ツアー2024」を実施した。県内在住の小中学生、保護者を対象に、事前申込制で124名の申込があり、当日は110名の参加があった。

ツアー内容は、参加者を4グループに分け、学生広報大使が各グループを担当し、大学内を案内した。図書館は全グループが回り、学部は、薬学部・経営情報学部又は食品栄養科学部・

国際関係学部の2ルートを設け、どちらかの1ルートを回る形で進めた。

ツアー当日の様子は、活発に質問が出たり、笑い声が聞こえたりと、大変盛況であったと感じており、参加者のアンケート結果では、「満足」「また参加したい」という回答が85%であった。一方で、全学部を回る形にはなっていないため、「見学する学部の希望を事前にとって欲しい」「全学部を見たかった」という意見もあった。その他、「学食を食べてみたかった」という意見もあり、また、「子供に今後の進む道の1つとして考えてもらえた」などの保護者からの意見もあった。来年度の開催に向けて参考になる意見が多数あったため、前向きに対応を検討していきたい。

小鹿キャンパスでは草薙キャンパスと同日に、看護学部による「県大小鹿キャンパスいきいきフェスタ」を実施した。申込者数57名に対し、当日は54名の参加者があり、「高齢期」・「孫育て」・「防災」の3種類の講座を開催し、非常に好評であった。講座内容等が地域の高齢者向けの内容ということもあり、地域住民の参加が多く、地域住民のニーズが非常に高いということが分かったため、今後も継続していきたい。

各学部の教員、学生、図書館スタッフの皆さまには、夏休み期間中にも関わらず、事前準備、実験、小中学生の案内などに協力をいただき、御礼申し上げます。

<補足説明>

・「夏休み県大ツアー2024」のツアー内容について誤りではないが、経営情報学部ではIoTの講義後にリモートカメラを使った操作、スマートフォンでのミニ四駆操作等を実施したため、タイトルを誤認されないよう、変更をしていただきたい。

1つ目は、ツアー内容の経営情報学部において、「スマホを用いたミニ四駆の操作等」を「IoT体験（スマホからのミニ四駆操作等）」とする。

2つ目は、ツアーの様子におけるタイトルにおいて、「ミニ四駆体験（経営情報学部）」を「スマホからのミニ四駆操作体験（経営情報学部）」とする。（構成員）

② 静岡県立大学短期大学部（説明者：栗田事務局次長兼短期大学部事務部長）

短期大学部は、県民の日に当たる8月21日に「県短わくわくツアー2024」を開催した。

本ツアーは、小学生対象の短期大学部体験講座に参加していただくもので、今年度は、小学生・園児が13名、保護者が9名、計22名の参加があった。

内容は、各学科・専攻による体験講座4種類に加え、小鹿図書館での「おはなしかい」を開催した。当日は静岡新聞の取材があり、翌日の静岡新聞に様子が掲載された。

参加者へのアンケート結果では、「小学生なのでまだ先のイメージですが、いろいろな体験を通じて大学を身近に感じる事ができて良かった」という感想があった。

今年度は小学生・園児の定員が20名に対し、申込者数が17名ということで、申込時点で定員割れをしていたため、来年度に向け、近隣小学校への広報などを行い、より多くの方に参加いただけるようにしていきたいと考えている。

(3) 株式会社静岡銀行との遺贈協定の締結（説明者：藤村教育研究推進部長）

株式会社静岡銀行との遺贈協定を締結したため、報告する。

昨今は、遺言によって遺産の一部又は全額を相続人以外の団体へ寄附する「遺贈」が増えて

おり、本学においても遺贈希望者が円滑に手続きを進めることができる環境を作りたいと考え、同行が遺贈サポートに関する協定締結を結ぶことに前向きな姿勢であることを確認したため、令和6年9月4日に遺贈協定を締結した。

遺贈協定締結により、遺贈を希望される方又は遺産相続、遺言等の相談をする際、本学を含む高等教育機関への寄附を同行から案内していただくという仕組みであり、それに対する遺言書作成のサポート、信託銀行、信託会社への紹介等も同行で行うこととなる。

既に浜松医科大学、静岡大学では、金融機関との遺贈サポート協定を締結しており、本学も静岡銀行と締結した。引き続き、他の金融機関にも声掛けを行い、本学へ寄附いただける仕組みを作り、おおぞら基金を中心に広く募っていきたいと考えている。

2 その他事項

(1) 令和6年度（第28回）文芸コンクール作品募集（説明者：藤村教育研究推進部長）

静岡県立大学はばたき寄金運営委員会主催による文芸コンクールを例年開催しており、今年度は第28回の開催となる。

今年度は、詩・川柳・イラスト・写真を募集しており、テーマは、詩と川柳が「大学生活」、イラストと写真が「静岡県立大学」である。

応募締切は10月4日（金）とし、本学の学生、大学院生以外のほか、教職員の応募も可能であることから、各学部・研究科等の学生、学部・研究科内の教員など、皆さまの周知の協力をお願いする。

<補足説明>

・募集部門は隔年で変わり、去年は短歌・俳句であった。文芸コンクール作品の募集内容は、毎年変更して続けてきた。今年も多く教職員、学生の応募をお願いする。（構成員）

担当：経営財務室 市野 雄基